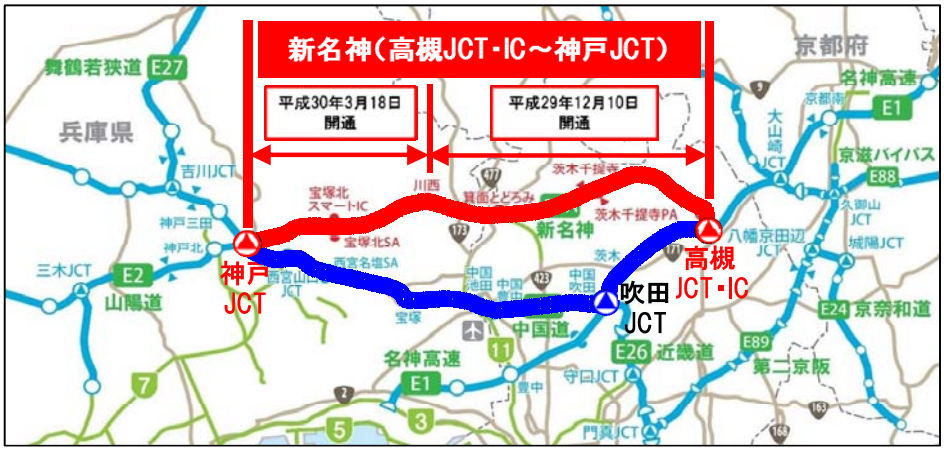
≪トピック2≫ E1A新名神高速道路の開通効果

○新名神(高槻JCT・IC～神戸JCT)の開通により、名神・中国道の交通が分散
【交通量】 H29年末年始 新名神:4,900(台/日)＋名神・中国道:101,100(台/日) (計106,000(台/日))
⇒H30年末年始 新名神:34,800(台/日)＋名神・中国道:74,400(台/日) (計109,200(台/日))

○渋滞回数が9割減少
【渋滞回数(10km以上)】 H29年末年始 11回 ⇒ H30年末年始 1回

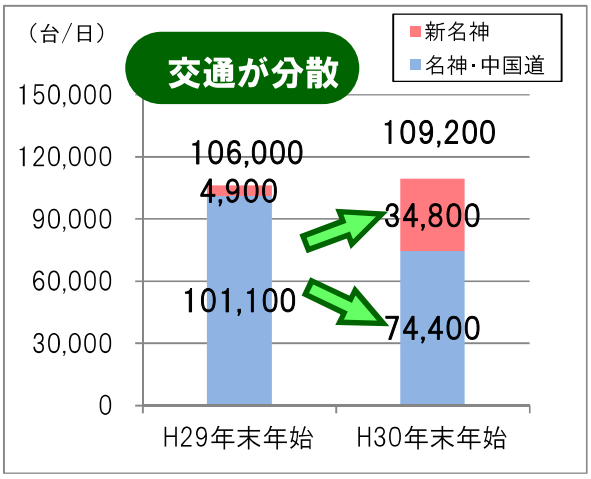
○20km以上の渋滞は発生せず、渋滞の規模が縮小
【渋滞回数(20km以上)】 H29年末年始 2回 ⇒ H30年末年始 0回

■位置図

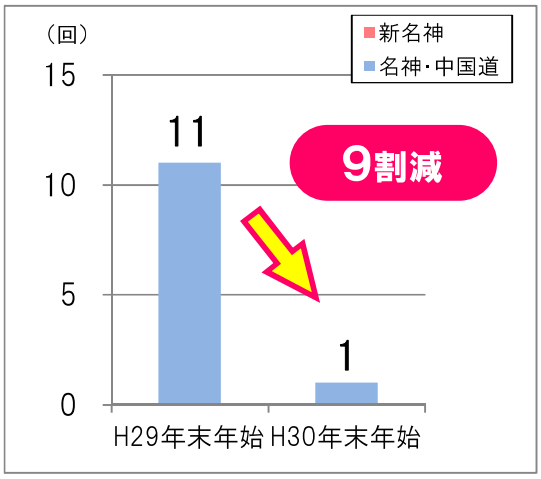


■新名神開通後の交通量・渋滞回数

交通量



渋滞回数(10km以上)



■10km以上の渋滞回数 (渋滞長別内訳)

渋滞長	H29年末年始		H30年末年始
30km以上	0	⇒	0
20～29km	2	⇒	0
10～19km	9	⇒	1
10km以上 計	11	⇒	1

20km以上の渋滞なし

新名神 → H29:新名神(高槻JCT・IC～川西IC)の集計、H30:新名神(高槻JCT・IC～神戸JCT)の集計
名神・中国道 → 名神(高槻JCT・IC～吹田JCT)および中国道(吹田JCT～神戸JCT)の集計